



3月定例会

市長より議会へ 諸般の報告



門脇榎夫市長

新庁舎建設

現在、基本設計委託業者をプロポーザル方式で選考中である。提案書の提出締め切りである二月末までに、指名五社中四社の提案を受理した。(一社は辞退)三月二十五日のヒアリング審査に向け事務を

進めている。三月下旬には、審査会から最優秀設計委託候補者の推薦を受け、委託業者を決定する。

一方、職員チームも課等の執務内容と必要面積について調整作業を進めており、三月下旬までには議会とも協議し、議事堂も含めた原案を作成する予定である。

地域審議会

昨年十二月に第四回物部地域審議会及び第五回香北地域審議会がそれぞれ開催された。その中で、合併協定書の変更についての諮問、庁舎位置検討委員会の結果について報告した。

合併協定書の変更については、「前納報奨金の廃止」及び、「広報等の配布回数の変更」について諮問し、審議の結果、承諾された。

物部地域審議会からは、大栃高校と山田高校の統合について、両校の関係者及び、香美市、市教委、県教委による協議の場を設ける

ことと、特別養護老人介護施設は、周辺環境に配慮した建築物の検討、早急な意見整合を行い、地域住民に対して早期に示すことのできる体制を作ることを求める提言書が提出された。

香北地域審議会では、支所で受け付けた諸手続きで、本庁での事務処理や確認が必要な事務手続きに相当の時間を要する場合が見られるため、速やかに事務手続きができる体制の整備が求められた。

前納報奨金を廃止

市税の前納報奨金の廃止については、前納報奨金制度の初期の目的である納税意識の高揚が図られたことや、財源の確保、不公平な制度である等の理由により、土佐山田、香北、物部の各地域審議会に

おいて諮問し、審議の結果、了承された。これを受け、今議会に平成二十一年度から前納報奨金を廃止する市税改正条例案を提案した。

悪質商法が急増

本年に入って、特に高齢者を狙った悪質商法が急増している。香北町、物部町でも個人宅に入り、人を集め、甘い言葉や日用品を無料で配るなどし、最終的に高額な商品を買わせる事例が多発した。

大半がクーリング・オフなどで契約を解除することができたが、このような催眠商法や架空請求なども後を絶たない状況である。町内放送や民生委員の会等でも説明したが、今後でも広報等で啓発していく。

特定健診が はじまります

平成二十年度から始まる特定健診・特定保健指導について、住民の皆さんに周知するため、二月上旬に法改正の内容と健診の実施方法等を要約した資料を市内全世帯へ郵送した。

特に、香美市国保の被保険者については、従来の「集団検診」に加え、かかりつけ医療機関等で受診可能な「個別健診」を選択できることなど、健診方法について詳しい説明に先立ち、一月三十一日にプラザ八王子で、健康づくり婦人会・健康づくり推進協議会・食生活改善推進協議会の皆さんに対する説明会を開催し、健康を守るため地域住民に健診を受けてもらえるよう、事業の周知と受診率向上への協力をお願いした。



新装なる大宮小学校

結核増患者加数

平成十八年・十九年と香美市において結核の新規患者数が増加傾向にあり、中央東福祉保健所と連携して対策をとることとなった。今回の感染の特徴は、二十歳代から五十歳代の比較的若い年齢層に発生している。香美市

の新規患者数は、平成十八年度が十一人、十九年度が十二人となっており、人口十万人当たりの比率では全国の約二倍となっている。今後とも感染が広がる可能性が懸念されることから、健康づくり推進課では、二月十五日に市内各世帯へ注意を呼びかけるチラシを回覧したほか、市内保育園・幼稚園・小中学校

大宮小校舎落成

二月九日、地域・保護者・工事関係者・各関係機関の皆さんの物心両面にわたるご協力ご支援により無事故で落成式を迎えることができた。耐震性に優れ、セキユリテイも確保されるとともに、人も環境にもやさしい学校として整備され、「地域に開かれた学校づくり」を推進していく。

の保護者宛にチラシを配布するとともに、大勢の人が集まる施設や事業所などにもポスターの掲示をお願いしている。今後とも啓発に努めるとともに、福祉保健所等とも連携を取りながら感染の拡大阻止に取り組む考えである。

出火災動・救急救助

●消防課

1.平成19年の火災、救急及び救助出動件数

①火災件数

	建 物	損害額 (千円)	林 野	損害額 (千円)	車 両	損害額 (千円)	その他	損害額 (千円)	合 計	
									件数	損害額 (千円)
土佐山田町	5	58,366	1	0	2	70	5	2	13	58,438
香北町	2	14,633					1	0	3	14,633
物部町			1	58					1	58
合 計	7	72,999	2	58	2	70	6	2	17	73,129

平成18年と発生件数及び死者数は同じで、17件、1名です。

②救急出動件数

	急 病	一般負傷	交通事故	その他(転院)	合 計
	土佐山田町	675	161	105	202(157)
香北町	182	60	13	52(40)	307
物部町	86	29	5	8(4)	128
その他	1	1	4	1(0)	7
合 計	944	251	127	263(201)	1,585

平成18年と比べて69件増えています。

③救助出動件数

	火 災	交通事故	その他	合 計
	土佐山田町	1	9	
香北町			4	4
物部町			1	1
合 計	1	9	5	15

平成18年と比べて2件増えています。

2.平成20年2月29日までの火災、救急及び救助出動件数

①火災件数

	建 物	損害額 (千円)	林 野	損害額 (千円)	車 両	損害額 (千円)	その他	損害額 (千円)	合 計	
									件数	損害額 (千円)
土佐山田町	1	調査中					1	調査中	2	調査中
香北町										
物部町					1	調査中			1	調査中
合 計	1	調査中			1	調査中	1	調査中	3	調査中

②救急出動件数

	急 病	一般負傷	交通事故	その他(転院)	合 計
	土佐山田町	115	29	9	27(17)
香北町	28	12	2	8(6)	50
物部町	8	1		2(1)	11
その他					
合 計	151	42	11	37(24)	241

平成19年は2月までに271件の出動件数がありました。平成19年の内訳は急病179件、一般負傷44件、交通8件、転院を含むその他40件です。